

世界の国を知ろう ～マラウイを通して～

山口県防府市立向島小学校

担当教科：4年生担任

山本 直

●実践教科：総合的な学習 ●時間数：8時間 ●対象学年：小学3年生・4年生 ●対象人数：3年生10名 4年生9名

実践の目的

- ・マラウイについての学習を通して、世界について知る。
- ・マラウイについての学習を通して、自分の生活について振りかえるきっかけとする。
- ・マラウイについての学習を通して、日本のよさを確認する。

授業の構成

時限	テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1	(事前学習1) マラウイについて知ろう	・マラウイについて話を聞く ・マラウイの子どもたちに送るプレゼントについて考える	・地球儀、写真等 ・ワークシート(アンケート用) [資料1]
2 3	(事前学習2) マラウイの子どもたちに日本の紹介をしよう	・マラウイの子どもたちに伝えたいメッセージを習字で書く ・マラウイの子どもたちへのプレゼント(おりがみ)を作る	・習字セット ・おりがみ
4	マラウイの子どもたちについて知ろう	・マラウイのあいさつを知る ・クイズをして、マラウイの生活の様子を知る ・VTRを見て、マラウイの子どもたちの様子を知る ・マラウイのお菓子を食べたり、楽器や本に触れ、文化を知る	・マラウイのあいさつを書いたカード ・パワーポイント ・教師が持って帰ったもの(太鼓、ブブゼラ、マラウイの服)
5 6	マラウイの食べ物を作ってみよう	・マラウイの主食「シマ」の作り方について知る ・「シマ」を作ってマラウイの食生活を体験する	・シマの作り方(プリント) ・シマ粉、なべ等
7	マラウイの水について知ろう	・写真を見て、水事情について知る ・水運びを体験する	・マラウイの写真 ・バケツ
8 9	マラウイの人に日本の食べ物を紹介しよう (マラウイJICA研修員2名来校)	・出会いの会をする ・一緒におむすびを作る ・マラウイの話を知ったり、質問をしたりする ・お別れの会をする	・会場かざりつけ ・お米、炊飯器等
10	マラウイについて学習したことをまとめよう	・これまで学習しこと感想をまとめる ・マラウイJICA研修員(2名)に手紙を書く	・感想用プリント ・お手紙用プリント

1 限目 マラウイについて知ろう（事前学習 1） 資料 1

「先生は、この夏にマラウイに行きます」ということから、子どもたちに話をした。地球儀を使って場所を確認したり、事前のJICA国内研修でいただいた資料を提示したりして、マラウイについての情報を子どもたちに提供した。子どもたちには「マラウイの子どもたちに紹介したいものは？」ということでアンケートを行った。

〈児童の反応〉

- ・日本のあいさつを紹介したいなあ
- ・日本の習字を紹介したいなあ
- ・学校の寒桜の木を紹介したいなあ

〈所感〉

子どもたちは、アフリカの場所を知る、マラウイの場所を知るところからスタートした。全く想像のつかない世界であるので、イメージがあまりわからないようだった。今後、少しずつ情報を提供して、興味を持てる内容を取り入れながら授業を進めていきたい。



マラウイの説明

2・3 限目 マラウイの子どもたちに日本の紹介をしよう（事前学習 2）

前回の授業で書いたアンケートをもとに「習字」や「おりがみ」のプレゼントを作った。習字の言葉については、アンケートの中から選んで書くようにした。「何年生に渡すのですか?」、「男子ですか?女子ですか?」と質問をする子どももいた。子どもたちの中には、まだ見ぬマラウイの子どもたちへの思いを持ちながら書く子どももいた。



言葉は自分で選んで



習字のプレゼント作り

〈所感〉

子どもたちは、日本の紹介を外国の人にすることが初めてである。何をしたらいいか考えるところからスタートした。この準備のおかげで、日本の文化を考えるきっかけとなった。

4 限目 マラウイの子どもたちについて知ろう 資料 2

マラウイに行って、見たこと、聞いたこと、感じたことをパワーポイントを使って子どもたちに話をした。

また、プレゼントをマラウイの子どもたちに渡して、マラウイの子どもたちからのメッセージを撮ったVTRを見た。

自分たちのプレゼントが実際に届いたことで、より身近にマラウイを感じたようである。授業後の感想の中に、マラウイの食べ物を食べてみたいと感想があった。

〈児童の反応〉

〈マラウイの話を聞いて、初めて知ったことは何ですか？〉

- ・ハイエナが野生で出てくるのがすごい、サッカーが上手な女子がいることがすごい
- ・水を運ぶんだなあと思いました
- ・電気がないんだなあと思いました

〈マラウイの話を聞いて、感想を書いてみよう〉

- ・ゾウのウンコから作られている紙があった
- ・マラウイの人たちは助け合っているんだなあと思いました。カ（蚊）にさされたら、こわい病気になるのかなあと思いました
- ・お母さんお父さんたちは忙しくて、子どもたちはそんなお母さんお父さんの手伝いをする思いやりが、すごくやさしいなあと思いました
- ・小学校や中学校に机やイスがないので、もしできたら持って行ってあげたいです



チテンジを腰に巻く



太鼓ブゼラに挑戦



男性用の服

〈所感〉

マラウイの子どもたちについて考える大きなきっかけの時間になった。しかし、さらに深めていくには、もっと厳しい現実の話も同時に伝えていかないといけない。

また、今回の授業を「低学年（1・2年生）」、「高学年（5・6年生）」にも行った。それぞれ、実態に応じて伝えていった。特に、低学年に対しては「おうちでもお話タイム」ということで、保護者に話をする宿題も設定した。保護者への働きかけも重要だとあらためて感じた。

5・6 眼目 マラウイの食べ物をつくってみよう

前回の授業の感想をもとに、マラウイの主食「シマ」を作った。付け合わせの「野菜」と「肉」は、子どもたちが食べやすいように日本風にアレンジした。

〈児童の反応〉

- ・指で食べるのが、つらかったです
- ・初めて作ったけど、おもったよりうまくできました。また、作ってみたいです
- ・シマはもちのにおいがしました。肉とすごく相性がよかったです。
- ・シマは、パンのような感じかと思ったけど、もちのような味がしたのでびっくりしました。



手を使って食べる



シマの基本のセット

〈所感〉

マラウイの主食を食べることで、関連してマラウイの話をする事ができた。見るのと実際に食べるのでは、子どもたちに伝わるものが大きく変わってくる。その国のことを知るには、その国の食べ物を食べることが大切であるということにより強く感じた。今回は、学校の教職員にも食べてもらい、教職員もマラウイについて知るきっかけの一つとなった。

7 眼目 マラウイの水について知ろう

マラウイの現実の問題点を中心に話をした。「電気や水道がない学校」、「学校に行けない子どもたち」、「十分でない医療」等の話をした。また、厳しいことの一つ「水」に焦点をあてた話をした。

私たちの生活の「便利さ」に子どもたちが気づききっかけとなる授業になればと考えた。実際にマラウイの人が毎日やっている「水くみ」の重さを体験することで、より実感すると考えられる。

〈児童の反応〉

- ・日本は学校に行ける。机で勉強できる。
- ・マラウイの人は金持ちが車を持っているけど、日本はふつうの人が車を持っているので恵まれている。
- ・日本人は寿命が長い。
- ・十分食べ物が食べられる。マラウイの人は、毎日いっぱいお手伝いをしないとイケない。
- ・学校に行ける。病気にかかるとすぐに病院に行ける。
- ・日本は電気がある。水道がある。



マラウイの水くみ



マラウイの現実



水くみ体験

〈所感〉

「マラウイの生活は厳しい」という話が主になり、日本が「豊かな国」ということが全面に出てしまった。

『豊かさ』よりも『便利さ』に焦点をあてるといいですよ」というアドバイスを山口県JICAデスク森さんから頂いた。毎日の生活に感謝の気持ちがもてるように、さらに指導を続けて行きたい。

8・9 眼目 | マラウイの人に日本の食べ物を紹介しよう

前回の授業の感想に、「マラウイの人に会ってみたい」、「マラウイの人に日本の食べ物を紹介したい」という意見が子どもたちから出てきた。マラウイ出身のJICA研修員の学校訪問によって子どもたちの願いが実現することができた。子どもたちにとっては初めて出会うマラウイの人との活動は、本当に貴重な時間となった。

〈児童の反応〉

〈マラウイの方と交流して、感想を書いてみよう〉

- ・フローレンスさんがラップで包んでくれたのがうれしかったです。
- ・チムウেমウェさんはとても楽しい女の人で、出会って話が来てとてもよかったです。おにぎりの作り方を教えてあげると、うまくトライアングルの形になったので、びっくりしました。チムウেমウェさんは、小さいころから親の手伝いをやっていたと聞きました。
- ・ライスボールホットやってみますか？と教えてあげました。チムウেমウェさんとマラウイで会いたいです。
- ・日本語で「よろしくね」と言っていたからびっくりしました。
- ・おにぎりを作るのが、ものすごくうまかったので、びっくりしました。しょうらいマラウイに行ってみたくです。



握手でお別れ



おむすび作り



出合いの会

〈マラウイの人との質問コーナーより〉

- Q. 好きな日本食は？ →A. お好み焼き
- Q. 日本のいいところは？ →A. きれいな所、安全な所、フレンドリー
- Q. 日本に来て思ったことは？ →A. うれしい、日本は発展している国
- Q. 小学生のころ、やっていたスポーツは？
→A. ネットボール（玉入れとバスケットボールを合わせたようなゲーム）
- Q. 好きな動物は？ →A. やぎ。20～30匹かっていた

〈所感〉

「言葉が通じるかな」、「どんな人がくるのかな」と不安と期待でいっぱいの子もたちだった。しかし、お二人の明るい人柄で、子どもたちの不安は一気に解消され、本当に有意義な時間となった。機会があれば、ぜひ交流を続けていきたい。

10 限目 | マラウイについて学習したことをまとめよう

これまで学習したことを振り返り、子どもたちへ「これからがんばりたいことは何ですか？」と問いかけた。子どもたちは、マラウイの人との交流が一番印象に残っていたようで、そのことを思い出しながら書いた。

〈今回のマラウイの学習をして、これからがんばりたいことは何ですか？〉

- ・マラウイの子どもたちは手伝いをよくしているので、私もがんばりたいです
- ・お手伝いです。理由は、マラウイの人はまだ小さい子が赤ちゃんのおもりをしているからです
- ・英語をしゃべりたい
- ・通訳ができるようになりたい
- ・もっと外国のことを知りたい
- ・マラウイの言葉をおぼえてみたい



初めての味噌汁



マラウイの紹介



会場作り

〈所感〉

4年生は、来年度から「外国語活動」の授業が始まる。山口県JICAデスクの森さんや教師が英語でマラウイの人と話す様子を見て、強い意識付けになったようだ。また、外国語への興味もかなり持つことができたように思われる。

全体を通しての成果と課題

「マラウイに行って、マラウイの現実を見て、子どもたちに伝えたい」というところからスタートした。マラウイでの研修中は、衝撃的なことも多く、アフリカのパワー、マラウイのパワーに圧倒された。得ることがあまりにも多いため、一度には子どもたちには伝えきれないのが正直なところだ。今回の研修で得たことを、今後の教育活動に、時期をとらえて、実態をとらえて、少しずつ活用していきたいと思う。

また、マラウイの話は子どもたちにするだけでなく、パワーポイントを使って「職員研修」の中で話をさせて頂き、学年だよりを使って保護者に伝えた。子どもへのはたらきかけも大切だが、周囲の大人へのはたらきかけも同じくらい大切だと感じた。



職員研修



職員研修

参考資料

【書籍】

- ・国際協力機構（2009）「集まれ地球の教室」
- ・国際協力機構（2009）「学校に行けない世界の子どもたち」
- ・栗田和明著（2004）「マラウイを知るための45章」明石書店
- ・山田耕平著（2007）「自分に何ができるのか？ 答えは現場にあるんだ」東邦出版

【映像資料】

- ・山田耕平「ディマクコンダ」（CD&DVD）

【インターネット】

- ・「JICA（国際協力機構）HP」<http://www.jica.go.jp/>
- ・「JICA中国 HP」<http://www.jica.go.jp/chugoku/>

アフリカ「マラウィ」について

()年 名前()

1、マラウィはどんな国だと思いますか？

2、マラウィの子どもはどんな子どもだと思いますか？

3、マラウィの子どもたちと日本の子どもたちへのアンケートです。

- 尊敬する人は、だれですか？ ()
- 大切なものは、なんですか？ ()
- 好きな食べ物は、なんですか？ ()
- 好きな遊びは、なんですか？ ()
- 好きな勉強は、なんですか？ ()
- 行ってみたいところは、どこですか？ ()
- 将来の夢は、なんですか？ ()

4、マラウィの子どもたちに日本の紹介をするには、何をしたらいいですか？

5、山本先生に、マラウィでやって欲しいことや見つけてきて欲しいものはありますか？



6、マラウィの子どもに質問したいことはありますか

ありがとうございました。

アフリカ「マラウィ」について（アンケート結果）

1、マラウィはどんな国だと思いますか？

- 6年・・・砂漠が暑い、貧しい、明るい国、貧しい国、すごい国、電気や水道がない国、貧しい国、にぎやか
- 5年・・・ジャングルがあると思います、暗い国、貧しい国、水道と電気がない国、いろいろなものがない国、貧しい国、貧しい国、サッカーが好きな人がいる
- 4年・・・さばく（ラクダがいる）、砂だらけ、かきこい国、砂漠、砂漠にある国、楽しい国、砂漠、砂漠の国、ラクダに乗るのに免許がいる
- 3年・・・砂漠の国、砂漠が多いところ、砂漠の国、砂漠、砂漠の国、黒人がいっぱいいる国、砂漠があるところ、黒人の国、お祭りがよくありそうな国、砂漠で暑い国、砂漠の国、砂漠の国、

2、マラウィの子どもはどんな子どもだと思いますか？

- 6年・・・元気、貧しい、元気、貧しい子ども、明るい子、よく働く子ども、元気な子ども、おとなしい、はだか、真っ黒
- 5年・・・家の人の手伝いをよくする、元気のいい子、はだしの子、とても働く子、明るい子ども、元気な子、手伝いをいっぱいしている、
- 4年・・・サッカーが好きそう、黒い、生活が苦しい子ども、日焼けをしている・背が高い、頭がよさそう、サッカーが好きそう、足が鍛えられてそう運動神経がよさそう、元気
- 3年・・・黒人、黒人、黒色の子ども、貧しい子どもだと思います、黒人の子ども、外国人、貧しい人、電気などが無いので工夫できる子どもたちがたくさんいる、強い子、黒人、黒人





4、マラウィの子どもたちに日本の紹介をするには、何をしたらいいですか？

- 6年・・・東京タワー、写真、家を教えたりしてあげる、写真を見せる、写真を見せながら話す、日本の文字を紹介する、日本語
- 5年・・・日本の本、妖怪、妖怪の写真、習字、食べ物、習字
- 4年・・・ビデオ、勉強を教える、写真とビデオ、写真、ビデオ、ゲーム、写真、写真をあげる、写真と劇
- 3年・・・日本の言葉、日本のあいさつ（こんにちは、おはようございます、こんばんは、おやすみなさい）日本のあいさつ、野球とサッカーとテニスのボールをあげる、日本の言葉を言う、サッカー、ドッチボール、水をあげる、おもしろいゲームをあげる、折り紙、剣玉、お寿司、いろいろな遊び、習字を持っていく、習字を書いて持って行く

5、山本先生に、マラウィでやって欲しいことや見つけてきて欲しいものはありますか？

- 6年・・・おやつ、マラウィで友達を作ってください、珍しいもの、宝石
- 5年・・・マラウィの食べ物、マラウィの食べ物、チョコレート、サッカーをだれかとして欲しい、程度はどのくらいなのか、サッカーボール
- 4年・・・ダイヤモンド、食べ物、ティラノザウルスの骨体手足の化石、お店や食べ物、どのようなくらしをしているか、おみやげ、ダイヤモンド、ダイヤモンド、食べ物、ゲームを見せる、日本のゲームと一緒に遊ぶ、おにごっこをする、食べ物を持ってきて欲しい、豪華なもの
- 3年・・・マラウィの食べ物、ダイヤモンド、ダイヤモンド、一番値段が高い果実を調べて欲しい、ダイヤモンド、どういう食べ物があるか、プブセラ、日本の食べ物を持って行って欲しい

6、マラウィの子どもに質問したいことはありますか？

- 6年・・・普段はどんな生活を送っていますか？、日曜はなにをしているか？、サッカーをしますか？、楽しいと思うことは何ですか？、好きな遊びは？
- 5年・・・学校は大変ですか？学校生活で楽しいことは何ですか？コンビニはあるんですか？サッカー選手で好きな人はいますか？何の遊びをしていますか？勉強は好きですか？どんな家に住んでいますか？
- 4年・・・外で遊ぶのは好きですか？ご飯はどうやって作るのですか？水や電気がなくて困ったことはありますか？学校は楽しいですか？学校は楽しみですか？電気が水がないくらしはいやじゃないですか？サッカーをずるんですか？
- 3年・・・マラウィの食べ物は何ですか？サッカーはできますか？

ありがとうございました。

おうちでも、お話タイム！ (だい二回目)

名前

二學きもみんながんばっていますね！ひさしぶりに、みんなからおうちのかたに学校であったことをお話タイムでつたえてください。

きょうの、お話タイムのだいは「マラウイのお話」です。おうちのかたにお話をするときには、つぎのことに気をつけてお話できるといいですね！

★マラウイはどんなところかな
★じぶんがどんなことをおもったか、きもちをつたえましょう。

お話をしたら、おうちのかたにかんそうをかいてもらいましょう。おうちのかたも、きっとにこにこしてお話をきいてくださるはずです。

保護者の皆さまへ

子どもたちは、一週間に一度「お話タイム」として、みんなの前でテーマにそってお話をする機会を設けて言っています。聞く姿勢やテーマにそって自分の思いを話すこともずいぶん、できるようになってきました。学校であったできごとをぜひおうちでも話してほしいと思い、この前題を出しています。子どもたちの話を笑顔で聞いていただき、学校での様子を思い浮かべていただけたらと思います。また、★印のことについて心がけながら断せるといいなと思います。自分の思いを自信をもって表現することができることを目指して、取り組ませたいと思います。お忙しい中、申し訳ありませんがよろしくお願いたします。ひとこと感想も、障みになると思います。よろしくお願いたします。

おうちの方から、ひとこと